

光る未来に全ツツパ。⑤

『親にバレて実家追放。ナンパは公園で』

「……で、追い出された？」

「うん。母ちゃんに動画バレてさあ。『アンタほんとにこんなことしとんの!』って」

「まあ……あれ見たら、なるよね」

ミサキはココアを飲みながら、俺の話を他人事みたいに聞いている。

場所は、駅前のドンキフードコート。

俺の実家——という名の安全地帯は、昨夜の家庭内炎上をもって無期限出禁となった。

「いや、でもスロカップルやってます」って説明したら、母ちゃん「アンタだけやなの?」って泣いてさ……」

「……たしかに。ミサキはいい子なのに、って思ってた」

「おう、そこ肯定すんなや」

で、現在。

俺、ネットカフェ暮らし初日。荷物は紙袋ひとつ。残高はパチンコで当てる予定の未来資産(※今のところゼロ)。

「てか、今日は一人で実戦回なんやんな？」

「うん。カメラは回すけど、私は出やん」

「は?なんでよ」

「あの子、いない方が視聴回数伸びる」ってコメントあったから」

「え、マジで!? 見る目あるな、視聴者!」

「そこ嬉しがるなよ……」

というわけで、今日は俺ひとりて「ナレリション付き実況動画」を撮る日。

「ってことで、来ました松阪バーラーライズセブン! 実戦機種は……」スマスロモンスターハンターライズ!」

カメラ前でテンション高めに挨拶して入店する俺。

ミサキはちょっと離れた休憩スペースでスマホいじってる。(たぶん「付き添いで来た彼女風」の演出)

「さてさて、本日の狩猟生活、スタートでございます……!」

打ち始めた途端、2KであっさりアイルービンゴからCZ突入。

そして、あっさりATへ。

「やべえ……今日の俺、キてる……!」

だが——ここで問題が起きた。

AT中、隣の台に座った地味系女子が、明らかにこっちのカメラをチラチラ見てる。

ん……なんか気になる。

茶髪、白いTシャツ、目元だけマスク。

地味っぽいけど、素顔は美人な可能性……?

「……ねえ、モンハン好きっすか?」

「……え?」

「いや、なんか好きそうだなと思って。俺、実況してるんすよ」

「……ふーん」

完全にスルーされる俺。

でも、心の中では「ナンパという名の社会実験」を継続中。

その後も、隣の子は俺のAT中に反応ナシ。どころか、トイレに行ったまま戻ってこなかった。

「……あの、逃げですかね?」

カメラに向かってボソッとコメントすると、休憩スペースのミサキがブツと笑った。

「いやあ、ナンパって難しいですねえ」

最終的に、出玉はプラス18,000円。地味ギャルは戻ってこず、俺の心には小さな傷が残った。

「てか、実家追い出されてどうすんの?」

帰り道、ミサキが訊いてくる。

「んー、とりあえずネットカフェで暮らし、そこから事務所契約して「ダイチハウス」作る」

「YouTubeっぽいこと言うな……」

「いや、ホンマやって。ダイチハウスでミサキと同棲風サムネ撮ろうぜ」

「……絶対いやや」

「なんでや! お前が俺を拾ってくれるって展開やないん?」

「ないよ」

俺は空を見上げた。満月が出ている。

「でもまあ……公園でナンパするくらいなら、ミサキの隣で撃沈してる方がマシかもな」

「……は?」

「いや、なんでもない」

歩きながら、ミサキの顔を盗み見た。

——ちょっとだけ、笑っていた。

次号に続く……

